

# 市

# 長

# ひ

# と

# こ

# と

●本庁市政情報課 ☎ 8182

市政に関することや身近なことなど、さまざまな「声」を寄せていただき、皆さんから寄せられた「ひとこと」の一部を紹介いたします。



## 08

### 愛のカプセルの活用実績について

- 要援護者支援(愛のカプセル)事業が1年を経過した。その活用実績を検証し、市広報誌や新聞等で公表し、市民の意識啓蒙を図ってほしい。
- 「愛のカプセル」は、救急出場時に本人や家族等から状況などを確認することができない場合に活用されるもので、25年4月15日現在、5,306人から申請を受け、配布しました。市消防本部の調べによると、24年度の活用実績は7件。不測の事態における迅速な救急活動に役立っているとのこと。今後も、市広報誌や報道機関等を通じてPRするとともに、自治会や自主防災組織などにも積極的に活用いただくよう、普及啓発に努めます。

## 06

### 災害時の情報伝達

- よその自治体は、携帯電話やスマートフォンを使った防災訓練を実施しています。防災時、携帯やスマホは無意味だと思うのですがなぜ使用するのでしょか。
- 災害時には、特定の通信情報手段が使えなくなることが想定されます。市は複数の手段を活用できるようさまざまな整備を進めています。市民の皆さんに対する情報提供手段は、①コミュニティFMによる防災ラジオ②防災行政無線や防災緊急情報システムなどの屋外放送や戸別放送③携帯電話のエリアメール④広報車を活用した広報一などです。市民の皆さんの安全を確保するため、あらゆる手段で情報を伝達しています。

## 04

### 市役所窓口の対応の改善について

- 合併して役所が複雑になったためなのかわかりませんが、役所の諸手続が全体的に遅いです。「担当が不在でわからない」と言い訳する前に、不在の場合でもきちんとフォローできる人材の育成とその体制をつくってください。
- 迅速かつ正確な窓口対応ができるよう検証するとともに、各種研修などを通じて改善に努めます。

## 01

### 国際リニアコライダーの誘致実現を願う

- 私は学生時代に宇宙科学を学び、現在は航空宇宙産業に勤めています。一関市がI L Cの誘致活動を進めていることを知り、一関市出身者として支援活動に参加したいと考えています。I L Cが北上山地に決定し、子供たちの将来に希望を与え、地方経済が活性化することを祈念します。
- I L Cは、宇宙の起源と素粒子の謎を解明するため、世界に一つだけ建設される大規模実験施設です。本市を含む北上高地は、安定した花崗岩帯が50<sup>m</sup>以上にわたって分布しており、I L Cの有力な建設候補地とされています。国内候補地は北上高地と九州の福岡・佐賀両県またがる背振山地の2カ所が挙げられており、今年の夏頃までには研究者等により、国内候補地の一本化が行われる予定です。私は、I L Cを震災復興のシンボルとして、国土の均衡ある発展に向け、東北の地にこそ実現させるべきであると考えています。その実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、今後ともご支援、ご協力いただきますようお願いいたします。

## 02

### 国際リニアコライダーの誘致に伴う安全確保

- 実家は建設予定地のそば。誘致に反対しませんが、生活に支障がないか心配です。井戸なので水流が変わったらお金がかかるし、電磁波等による健康障害も不安です。使用後の施設が、使用済み核燃料の最終保管場所にならないようにしてください。
- 井戸水(地下水)は、事前に影響を予測・評価して必要な対策を講じます。I L Cが建設される花崗岩帯は、地下水への影響は極めて少なくいといわれており、万一枯渇した場合でも補償されます。スイス・ジュネーブ、ドイツ・ハンブルグ、つくば市内の地下に同様の施設が建設されていますが、電磁波などの影響は報告されていません。他の加速器研究施設も初期の目的が達成された後、次の目的に継続利用されています。現在の法律で核廃棄物の最終処分は地下300<sup>m</sup>以上の深さに埋設処分することになっており、最深部が地下100<sup>m</sup>程度のI L Cは該当しません。県は、核廃棄物の最終処分場への転用を認めないと明言。市も立地協定等で確認、担保したいと考えています。

## 03

### 国道284号千厩一室根間の拡幅整備

- 国道284号の千厩一室根間の拡幅整備を推進してください。この区間は、岩手国体当時の現状を舗装したままの狭隘区間です。事故もたびたび起きています。県や国へ働きかけてください。高規格道路への運動もお願いします。
- 国道284号は、長年の懸案だった清田工区の整備が終了し、室根バイパスが事業着手されるなど、着々と整備が進められています。室根バイパスの整備促進を最優先課題に、清田地区の歩道改修と道路整備、事故

が多発している弥栄地区の急カーブ・急勾配区間の改良整備などの必要性を認識しており、機会を捉えて県に要望する予定です。高規格道路化の新規採択の可能性は極めて低いことから、地域高規格道路に準ずる整備の促進を優先します。最終目標は「一関・気仙沼間の地域高規格道路の早期実現」です。市は、気仙沼市や平泉町と連携して「広域道路・国道284号整備促進期成同盟会」を22年度に結成し、整備促進に向けた要望活動を展開しています。

## 09

### 南部神楽を市指定無形文化財に

- 本市の「布佐神楽」が県指定無形民俗文化財に指定され、南部神楽に携わる者にとって誇りと励みになります。市内には多くの神楽団体がいますが、県指定前提条件の市指定を受けていません。観光資源でもある南部神楽の調査を進め、一斉に指定してはどうでしょうか。
- 市内で活動する南部神楽は、いずれも地域の皆さんの地道な努力で受け継がれてきた貴重な財産であり、その保存、継承活動は重要であると認識しています。市指定は、教育委員会の権限であり、一関民俗芸能団体協議会などの協力のものと、市内で継承されている各神楽の基礎的情報の把握に努めています。こうした調査の結果を踏まえた上で、本市の歴史文化面で重要な神楽の文化財指定を進めてまいりたいとのこと。

## 07

### ごみの分別を徹底し無駄のない市政を

- 昨年、一関市に転入しました。そこで、ごみの量について疑問です。燃えるごみは大量に出されていますが、プラごみなどの資源ごみも燃えるごみに捨てられており、回収費用が高くなっているのではと思われま。資源ごみを生かし、市税の無駄遣いを減らして、快適で無駄のない過ごしやすい一関にしてください。
- ごみの分別及び資源ごみ収集の推進につきましては、資源の有効はもとより、焼却施設の負担軽減、最終処分場の延命化、ひいては市財政の負担軽減につながるものです。市は、分別の徹底を図るため、市広報誌への掲載、職員による出前講座の開催、各行政区における公衆衛生組合やごみ問題対策巡視員の活動などを行ってきました。今後もさまざまな機会を捉えて周知に努めます。

## 05

### 子宮頸がん予防ワクチンに対する助成

- 子宮頸がんについて、市はどのような対応をしていますか。全額負担、一部負担、助成しない、情報を知らせるだけ、のどれですか。
- 「子宮頸がん予防ワクチンに対する助成」については、22年12月議会に補正予算を提出し、23年2月から実施していますので個人負担はありません。事業実施に当たっては、中学・高校の養護教諭を対象に研修会を開催したほか、国が定める標準的な接種対象者となる中学1年から高校1年までの保護者に個人通知をしています。事業の周知は、助成内容を市長の施政方針や議会で説明しているほか、市広報誌でもお知らせしています。さらに、市長が出席する各種会議等のあいさつでも触れています。